

# 令和 5 年度 岡山県 英語教育改善プラン

## 目標

単元計画の中で児童が学習者用デジタル教科書を効果的に活用しようとする場面を設定するとともに、授業において児童の主体的に学ぼうとする意欲を引き出し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する。

## 1. 現状

改善が進んだ点

### ①CAN-DOリストの活用

	R3	R4
設定	98.3%	99.6%
公表	64.0%	78.9%
把握	84.1%	94.4%

### ②ループリックを活用したパフォーマンス評価の実施

	R4
実施	53.7%
実施予定	38.6%
予定なし	6.0%

令和4年度学習指導・生徒指導等の取組状況調査

### ①学習者用デジタル教科書の活用

ほぼ全ての授業で活用	25.4%
大体の授業で活用	6.6%
あまり授業で活用していない	25.4%
ほとんど授業で活用していない	42.6%

令和4年度岡山県学習者用デジタル教科書活用説明会

使用環境は整いつつあるも、紙の教科書の優位性のみを評価している学校も多く、十分な活用に至っていない。

未だ改善が必要な点

## 2. 分析

①小中連携及びパフォーマンス評価の実施が見える化した岡山県版CAN-DOリストを全ての市町村に配布するとともに、小学校英語専科研修で活用して周知及び実践の充実を図った。

②小中連携研究実践校での取組を参考に、各単元、各パフォーマンステストが中学校の学びとどう関連しているかを意識するようになり、言語面・内容面の系統性の充実だけでなく、評価規準の設定においても小中で共通理解を図る必要があることについて理解が進んだ。

①学習者用デジタル教科書活用説明会の事後アンケートを分析し、次のことを課題として捉えている。

- ・学習者用デジタル教科書を用いた授業イメージを持つ。
- ・学習者用デジタル教科書が「学習材」であることを理解し、家庭学習も含めて活用を生徒に委ねていく。
- ・単元計画の中で、教師が計画的に活用できる場面を設定する。
- ・英語科しか導入されていないため、全教員で高め合う場をつくる。

## 3. 施策・事業

### ①②に関して

#### ・小学校英語専科研修の充実

小学校英語専科を対象に3日間の研修を行い、研究授業等を通して、学習指導要領に基づいた指導法について理解を深め、授業改善につなげる。

#### ・小学校パワーアップ研修の充実

小学校教員（学級担任）の英語力向上及び英語指導力向上を図るために、3日間、民間のノウハウを活用した実践的な研修を行う。

#### ・小学校授業改善研修会の実施

確かな学力の定着を図るために、公開授業を基にした授業改善についての協議や講義等により、児童への指導の充実及び担当教師の英語指導力の向上を図る。

### ①学習者用デジタル教科書活用事業及び学習者用デジタル教科書フォーラムの実施

小学校における学習者用デジタル教科書活用についての理解を深め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組を学校全体で進められるよう、研修会等を実施する。

#### 小学校英語専科指導に係る加配定数活用に当たって

小学校教員の新規採用に当たっては、一定の資格を有する者を対象とした英語枠による採用を実施するとともに、英検準1級等の資格による加点制度、英語を母語とする者を対象とした特別選考等の実施により、高い英語力を有する者の出願、採用につなげ、目標管理書に示す目標値の達成を目指す。

# 令和 5 年度 岡山県 英語教育改善プラン

## 目標

単元計画の中で生徒が学習者用デジタル教科書を効果的に活用しようとする場面を設定するとともに、授業において生徒の主体的に学ぼうとする意欲を引き出し、生徒が粘り強く、自己調整しながら英語力を向上させる。

## 1. 現状

改善が進んだ点

### ①生徒の言語活動

※授業中、半分以上の時間、英語で言語活動を行っている学校の割合

岡山県 (岡山市を除く)	R3	R4
	69.8%	73.3%

### ②教師の英語使用状況

※授業中、教師が発話の半分以上を英語で行っている学校の割合

岡山県 (岡山市を除く)	R3	R4
	64.9%	76.2%

未だ改善が必要な点

### ①学習者用デジタル教科書の活用

ほぼ全ての授業で活用	25.4%
大体の授業で活用	6.6%
あまり授業で活用していない	25.4%
ほとんど授業で活用していない	42.6%

令和 4 年度岡山県学習者用デジタル教科書活用説明会

使用環境は整いつつあるも、紙の教科書の優位性のみを評価している学校も多く、十分な活用に至っていない。

## 2. 分析

①教員対象の研修会で文部科学省の動画 (mext channel) 等を活用することで、教師の「言語活動」の捉えを明確にし、「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」のすべての技能において言語活動が行えることを確認した。

②指導主事研修会等において、市町村教育委員会の指導主事に「授業を英語で行うこと」の意義について理解を促し、全県で英語の授業参観を行う際の視点とした。

①学習者用デジタル教科書活用説明会の事後アンケートを分析し、次のことを課題として捉えている。  
 ・学習者用デジタル教科書を活用した授業イメージを持つ。  
 ・学習者用デジタル教科書が「学習教材」であることを理解し、家庭学習も含めて活用を生徒に委ねていく。  
 ・単元計画の中で、教師が計画的に活用できる場面を設定する。  
 ・英語科しか導入されていないため、全教員で高め合う場をつくる。

## 3. 施策・事業

### ①②英語教員指導力向上研修講座等の実施

大学教授を講師として招き、中学校英語担当教師を対象に、生徒の主体性を育む動機付けとCAN-DOリストの活用についての実技・演習等を行う。

### ①英語デジタル教科書活用実証研究事業

生徒の英語 4 技能を総合的に育成することを目的として、研究校を指定し、学習指導要領の趣旨を踏まえた英語の学習者用デジタル教科書の効果的・汎用的な活用について研究を行うとともに、その成果等について授業公開、研究協議等を通して県内に広く発信・普及する。

○倉敷市立北中学校

生徒の主体的な学習における、効果的な学習材の活用～学習者用デジタル教科書を活用した単元計画デザインと授業実践～

○津山市立津山東中学校

生徒自身が見通しを持ちながら学習を進め、理解を深めていくための学習者デジタル教科書の効果的な活用法の追求

令和 7 年度の目標

- ①全ての中学校において、学習者用デジタル教科書を生徒が主体的に活用する単元を、学期に 1 つ以上位置付けている。
- ②全ての教員が、学習者用デジタル教科書を効果的に活用して授業を行っている。

# 令和 5 年度 岡山県 英語教育改善プラン

## 目標

生徒の発信力強化のための教員の英語指導力を向上させるとともに、授業改善を進めることにより、生徒の英語力の向上を図る。

### 1. 現状

改善が進んだ点

#### ① 生徒の英語力

※CEFR A2レベル相当以上の英語力  
を取得または有すると思われる生徒数

R3	R4
48.8%	51.6%

#### ② 生徒の言語活動

※授業中、半分以上の時間、英語で  
言語活動を行っている学校の割合

R3	R4
76.3%	81.4%

未だ改善が必要な点

#### ① CAN-DOリストの活用

※「CAN-DOリスト」形式による学習到達  
目標を公表している学科の割合

R4	全国
53.5%	64.0%

#### ② パフォーマンステストの実施

※スピーキングテスト・ライティングテスト  
を両方実施している学校の割合

R4	全国
46.1%	48.6%

### 2. 分析

①②研修協力校による教員研修や指導教諭等による公開授業・研究協議を実施し、4技能5領域を総合的に高めるための言語活動を重視した授業改善を進めたことにより、個々の教員や学校全体の取組につながり、生徒の英語力及び生徒の言語活動の割合が前年から上昇した。

①新学習指導要領の実施にあわせて、県立高校全校に対してCAN-DOリストの更新を求めたことにより、設定はできているものの、活用については上昇傾向ではあるが全国平均には届いていない。

②研究協議会や教員研修において、パフォーマンステストの効果的な実施について扱い、前年から改善しているものの、全国平均には届いていない。

### 3. 施策・事業

①②

#### ・高等学校英語研修講座

教員の指導力向上のための研修講座を開講する。

#### ・指導教諭等による公開授業

県立学校に配置された指導教諭が授業を公開し、学習指導要領の趣旨に沿った授業のイメージを共有することで、効果的な授業研究を推進する。

#### ・外国語指導助手との協同授業推進研修会

協同授業の授業公開とともに、効果的なチームティーチングに関する研究協議を行う。

#### ・外国語指導助手の指導力等向上研修

大学教授等による講義・演習、効果的なチームティーチングに関する実践発表・研究協議を行う。

①②

#### ・英語教育推進リーダーの活用

県内の英語教育推進リーダーがプロジェクトチームとして本県の英語教育の現状及び改善について協議を行い、所属校での実践・公開授業・研究協議等を通じて、各校への普及を行い、個人的・組織的な取組の改善を図る。